

施策マネジメントシート

基本施策名	07 生涯学習の環境づくり	施策 統括課	公民館	氏名	石田 進
政策名	3 文化・生涯学習・スポーツ	主な 関係課	くにたち中央図書館、生涯学習課		

1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等

市民

施策の目的

市民一人ひとりが生涯学習に取り組み、様々な局面で学ぶことができるとともに、様々な学びを通して、学習の成果を地域社会で活かすことのできるまちを目指します。

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

名称	単位
ア 人口	人
イ	
ウ	
エ	

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

名称(展開方向ごとに記載)	単位
1 ア 日常何らかの生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%
イ 市が主催する生涯学習事業の参加者数	人
2 ア 図書貸出冊数	万冊
イ 公民館使用者数	人
3 ア 学習活動に取り組んでいる市民の中で、学習を通じて身につけた知識や技術を地域や社会に生かしている市民の割合	%
イ	
4 ア	
イ	

2 第2次基本計画期間(令和2～令和9年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1 学習機会の充実と学習情報提供の推進	日常的に様々な生涯学習に取り組む市民を増やすとともに、学習を通じて生きがいを得ている市民を増やします。	市の生涯学習情報を集約し、多様な手段で情報を提供します。ライフステージに応じた学習機会の充実を図るとともに、様々なテーマや課題に対応した学習を支援します。 しょうがいのある方々が生涯を通じて、多様な学習・交流機会に親しむことができるよう支援します。 公民館・図書館等の公共施設や教育施設等を活用した学習・交流機会の提供を推進します。また、学習者が利用しやすい施設運営に努めます。 市内の大学・高校、市民団体等の多様な主体との連携・協働により、学びを機会を増やします。
2 学習成果を活かせる環境づくりの推進	生涯学習による市民の学習成果を学校・家庭・地域等の日常で活かせる環境づくりを推進します。	学習の成果を活かすことを前提とした講座等を開催します。 図書館協力ボランティアなど、学習成果を地域において活かせる活動を支援します。 市民が学習の成果を活かせるサポートの充実を図ります。
3		
4		

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

			単位	数値区分	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R9年度		
対象指標		ア	人	見込み値 実績値	75,384	75,466	75,932	75,984	76,282	76,098	76,106	76,140	75,925	目標達成度	
		イ		見込み値 実績値										達成・ 未達成	前年度 比較
		ウ		見込み値 実績値											
		エ		見込み値 実績値											
成果指標	展開 方向 1	ア	%	成り行き値	62.3	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	68.0	達成	向上
				目標値	64.7	65.5	66.2	67.0	67.0	68.0	69.0	65.0	70.0		
		実績値	67.9	63.1	61.2	63.4	70.0								
					基本計画における 指標の説明又は出典元		国立市市民意識調査								
	イ	人	成り行き値											未達成	低下
			目標値	8,250	8,500	8,750	9,000	9,250	9,500	9,750	11,000	12,500			
	実績値	8,320	9,335	9,228	8,180	3,857									
				基本計画における 指標の説明又は出典元		公民館における生涯学習事業の参加者数									
	展開 方向 2	ア	万冊	成り行き値										未達成	低下
				目標値	51.5	52.0	52.5	53.0	53.5	54.0	54.5	50.0	50.2		
		実績値	50.8	50.3	49.8	47.9	39.4								
					基本計画における 指標の説明又は出典元		図書貸出数								
	イ	人	成り行き値											未達成	低下
			目標値	71,500	72,000	72,500	73,000	73,500	74,000	74,500	73,000	75,000			
	実績値	73,890	72,779	70,896	63,442	29,891									
				基本計画における 指標の説明又は出典元		公民館施設使用者数									
展開 方向 3	ア	%	成り行き値	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	未達成	低下	
			目標値	34.7	35.5	36.2	37.0	37.7	38.5	39.2	32.2	32.4			
	実績値	35.6	34.5	32.0	35.8	28.7									
				基本計画における 指標の説明又は出典元		国立市市民意識調査									
展開 方向 4	イ	成り行き値													
		目標値													
	実績値														
				基本計画における 指標の説明又は出典元											
展開 方向 4	ア	成り行き値													
		目標値													
	実績値														
				基本計画における 指標の説明又は出典元											
展開 方向 4	イ	成り行き値													
		目標値													
	実績値														
				基本計画における 指標の説明又は出典元											
事務事業数				本数	17	14	11	14							
施策 コスト	事業費	財 源 内 訳	国庫支出金	千円											
			都道府県支出金	千円		16,100	3,000								
			地方債	千円											
			その他	千円				410							
			一般財源	千円	143,114	91,990	79,598	174,278							
			事業費計 (A)	千円	143,114	108,090	82,598	174,688	0	0	0	0	0		
		人 件 費	延べ業務時間	時間	67,640	61,734	60,372	65,129							
			人件費計 (B)	千円	211,555	187,142	185,384	184,841							
			トータルコスト(A) + (B)	千円	354,669	295,232	267,982	359,529	0	0	0	0	0		

4 施策の成果指標実績値に対する評価

(1) 施策全体の成果実績目標達成度 A(高度に達成) ~ E(ほぼ未達成)

C:一部の成果指標について目標を達成した

(2) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上) ~ E(かなり低下)

C:成果はほとんど変わらない(横ばい状態)

(3) 上記(1)(2)の理由・背景として考えられること(数値で表せない定性的評価もあれば記載する)

・新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言等が、公民館利用者数や図書貸出数、生涯学習事業への参加活動を大きく減少させたと考えられる。反面で感染症等への不安が、市民意識調査の「健康体力づくり」「心を豊かにする」「職務技能を身につける」数値が6.1~7.9ポイントと大幅に上昇した。

5 施策の現状 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・人口減少、高齢化、子ども等の貧困等の社会状況の変化に対応するため、主体的に判断して多様な人々と協働できる学習や人材育成が求められている。行政として地域連携や生涯学習施策において、将来にわたる学習環境整備や地域還元などの推進や支援する必要がある。

・国の第3期教育振興基本計画(H30～R4年度)では、5つの基本方針の3つ目を「生涯学び、活躍できる環境を整える」とし、人生100年時代の到来、持続可能な開発目標、しょうがいしゃ、職業に必要な知識やスキル等を主題として、生涯学習や学びの推進を掲げている。

・令和元年12月の中央教育審議会「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」答申では、地域の実情を踏まえ、より効果的と判断される場合は、社会教育施設の首長部局への移管特例を認めている。

・国立市では、国立市生涯学習振興・推進計画(R元年5月)を策定し、生涯学習施策の推進を図っている。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・住民や議会からは生涯学習施設の増設・開設時間延長や生涯学習活動の充実、直営方式の維持などが求められている。

(3) この施策に関して他自治体の取組状況と比較して国立市の取組状況はどうか？

・国立市民の学習意識や自治意識が高い傾向にあると言われている。社会教育や生涯学習に対する要望も同様にあると思われる、それを受けた本市の本施策等の取り組みも他自治体と比較して前向きで先駆的な取り組みを展開しているものと考えている。

(4) 施策の具体的な取組状況

2年度の取組状況	3年度の取組予定
・公民館では現代的・地域的な課題などをテーマとして市民の自主的な学びを促した。また、従来の来館型講座に加えて、新たにオンライン型講座も実施した。 ・若者支援事業、中高生の学習支援事業を実施した。 ・「生涯学習振興・推進計画」に基づく事業の実施及び検討を行った。 ・第22期図書館協議会における報告と提言を受理し、第23期図書館協議会が発足した。 ・電子図書館システムを導入し、非来館による資料提供が可能になった。 ・児童サービスでは、第三次国立市子ども読書活動推進計画に基づき、講演会等の事業を感染防止対策を徹底したうえで実施した。	・公民館では現代的課題や地域・生活の課題などの様々なテーマを取り上げ、市民の自主的な学びを促し、学習が地域還元されるよう社会教育を実践していく。 ・若者支援事業、中高生の学習支援事業を実施していく。 ・第三次子ども読書活動推進計画に基づく事業を引き続き実施する。 ・ボランティアのスキルアップ講習を実施し、事業の質の向上を図る。 ・電子図書館システムを安定的に運用するとともに、独自資料の作成に着手する。

6 2年度の評価結果 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等) 基本的に展開方向ごとに記載

総合基本計画に照らして評価する(目的達成のための事務事業が適切か、事務事業の実施方法は適切か)

○成果実績

○学習機会の充実と学習情報提供の推進

・公民館では現代的課題や地域・生活の問題などの様々なテーマを取り上げ、市民の自主的な学習を支援した。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、従来通りの来館型講座に参加できない市民に向けて、新たにICT機器を活用したオンライン型講座を実施した。

・図書館では、コロナ禍においても市民の情報要求に応えるよう、開館を極力維持することに努めるとともに、電子図書館システムを導入することで、約7千冊の電子書籍について、非来館、非接触での提供が可能になった。

○改善余地のある事項・課題等

展開方向1 学習機会の充実と学習情報提供の推進

・図書館の利用登録率・貸出冊数が微減傾向にあることから、図書館事業等の周知・広報を強化するとともに事業内容を再検討するなどして利用促進を図る。

・新型コロナウイルス感染症による事業中止や定員制限については、関係する計画や指標を見直す必要性もある。

展開方法2 学習成果を活かせる環境づくりの推進

・学習成果を地域で活かせるように、一層の支援や助言をする必要がある。

(2) 施策の2年度における総合評価

C

成果実績数値の評価(A～E)に、4(3)及び6(1)の定性的要素を加味した評価

A:目標とする成果を挙げており、社会的要請にも十分応えられている。

B:一定の成果を挙げているが、向上・改善の余地がある。

C:成果向上のため、一層の努力が求められる。

D:成果に乏しく、改善が急務である。事業の一部に見直しが必要である。

E:現状の事業では施策の目的を達成することが困難であるため、抜本的な見直しを要する。

7 施策の課題・今後の方向性 必要に応じて展開方向ごとに記載

(1) 4年度 of 取組方針

・公民館主催事業や講座を中心に市民の学習意欲の向上や学びを地域社会に還元できる取り組みを実施する。又、引き続き、若者支援事業や中高生の学習支援事業などを実施していく。

・第三次国立市子ども読書活動推進計画に基づき関係機関と連携しながら事業を行っていく。

・生涯学習振興・推進計画に基づき関係機関と連携しながら事業を行っていく。

(2) 中期的な取組方針(概ね実施計画期間を想定)

多様化・複雑化する地域社会において、市民のニーズに沿った公民館・図書館主催事業や講座を開催し、生涯学習に関する市民意識や学習力の向上、学びを地域社会で活かす取り組みを展開する。

・市内の大学などの高等教育機関や地域関係団体、市役所他部課などと相互に連携した事業を展開し、生涯学習の環境づくりを醸成する。